



2024年10月10日

株式会社アドバンスト・メディア

## AI 音声対話アバター「AI Avatar AOI」が、全く新しい顧客体験を提供 次世代型デジタルサイネージ&AI 説明員を 「CEATEC 2024」に出展

～AI からのアクションで、来場者ごとにパーソナライズされた対話を実現～

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）が提供する、AI 音声対話アバター「AI Avatar AOI（エーアイ アバター アイ）」に、AI 側からのアクションでお客様対応を始めることができる新機能を搭載し「CEATEC 2024」に出展します。会場では、デジタルサイネージおよび AI 説明員となった「AI Avatar AOI」を通じて、来場者とアクティブな対話を実現します。



次世代型デジタルサイネージ版「AI Avatar AOI」

富士キメラ総研の調査によると、デジタルサイネージ市場は年々成長を続け、2022年に1,992億円、2027年には65.4%増の3,294億円まで市場規模が拡大すると推測されています。<sup>※1</sup>

市場の拡大とともに、デジタルサイネージの活用が一般化し、消費者に対してよりインパクトのある訴求が求められています。そこで、デジタルサイネージの新たな可能性を追求し、さらにアクティブで効果的なコミュニケーションを実現するため、国内シェア No.1<sup>※2</sup>のAI 音声認識 Amivoice を活用した「AI Avatar AOI」に、AI 側からのアクションでお客様対応を始めることができる新機能を実装しました。

来場者がデジタルサイネージに流れるコンテンツに関心を持って立ち止まると、「AI Avatar AOI」が画面に登場します。新機能により画像情報から来場者の特長を分析し、AI キャラクター側から来場者の属性に応じた情報提供や案内を行うことで、よりパーソナライズされた体験の提供を実現しました。こうした高度な AI 対話を組み合わせた進化系デジタルサイネージにより、イベント会場や店頭などさまざまなシーンにおけるユーザーエクスペリエンス向上を促進し、お客様とのエンゲージメントを一層深めることができます。

「CEATEC 2024」の当社ブース内では、「AI Avatar AOI」が AI 説明員として登場し、来場者との対話を通じて、「AmiVoice API」や「AmiVoice ISR Studio」などのサービスの紹介を行います。

来場者がタブレットの前に立つと受付担当の AI 説明員が「何か興味のある技術はございますか？」と、積極的な対話を展開します。さらに、来場者の回答を音声認識すると、『AmiVoice ISR Studio』をご紹介します。黄色い髪の私がいる場所までお越しください」と、適切な製品やサービスを提案し、ブース内のマップを表示して目的の製品の展示場所へと案内します。

また、目的や用途に合わせてさまざまなデバイス上で活用できる利便性から、「AI Avatar AOI」は、複数の自治体で活用されています。今回、「CEATEC 2024」のブースでは、本システムを活用し AI 化した、長野県中野市公認 Vtuber 「信州なかの」も登場します。



最先端の技術、製品、ソリューションなどを展示する「CEATEC 2024」は 25 周年を迎え、今年には「Innovation for All」を特別テーマに掲げています。約半数が AI 関連の展示を予定している中、直感的でより人間に近い高度な AI 対話を実現する「AI Avatar AOI」を、多くの方にご体験いただくため「CEATEC 2024」に出展します。

アドバンスト・メディアでは、対話型 AI の市場が拡大する中で「AI Avatar AOI」を活用した企業や自治体との新しい取り組みを積極的に推進してまいります。

## ■ 「CEATEC 2024」 出展概要

会期 : 2024 年 10 月 15 日 (火) ~18 日 (金) 10:00~17:00

会場 : 幕張メッセ 千葉市美浜区中瀬 2-1

当社ブース : 4H189

公式サイト : <https://www.ceatec.com/ja/>

展示内容 :

### <AI 音声対話アバター「AI Avatar AOI」>

「AI Avatar AOI」は、AI 音声対話によりお客様対応を 24 時間 365 日無人で行い、問い合わせ対応の工数削減や企業の人手不足解消、リモート環境下での顧客接点強化に貢献します。また、独自の対話システムと ChatGPT を連携し、本来のキャラクターの性格や話し方を再現しながら、柔軟で多彩な対応が可能です。利用者に応じてアバターの外見変更や音声合成のカスタマイズもできます。

管理画面からは音声認識結果や自動応答の内容を確認・編集でき、データを分析することでマーケティングなどに活用することも可能です。また、日本語に加え、英語、中国語などの音声で話しかけることができ、多言語の問いかけに対してもリアルタイムに音声認識し、キャラクターが応答します。

<https://www.advanced-media.co.jp/products/service/ai-avatar-aoi>

### <電話対応を自動化するボイスボット「AmiVoice ISR Studio」>

音声認識市場 No.1<sup>※2</sup>の AI 音声認識を活用した音声対話により電話対応を自動化できる、ボイスボットのクラウドサービスです。分岐シナリオやカスタマイズも可能な音声認識エンジン、電話転送などにより、さまざまな電話シーンに対応します。

<https://www.advanced-media.co.jp/lp/isr-studio/>

### <開発向け音声認識 API「AmiVoice API」>

25年以上のノウハウ・データが蓄積された、国内シェア No.1<sup>※2</sup>の AI 音声認識 AmiVoice をお客様のサービスや製品に実装できる API で、低価格で高品質な音声認識が利用できます。利用シーンを選ばない汎用的なエンジンと、さまざまな業界向けにチューニングした領域特化型のエンジンを Web API として提供しています。さらに、業務やビジネス、一般会話で使用するこのない不適切な用語を省いた、ビジネスユースに強い言語モデルを用いています。不要語を省いているため、幅広いシーンで安心して使用できます。

<https://acp.amivoice.com/>

※1 富士キメラ総研 『デジタルサイネージ市場総調査 2023』 <https://www.fcr.co.jp/pr/23085.htm>

※2 出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2024」音声認識ソフトウェア/クラウドサービス市場

以上

### 【会社概要】 <株式会社アドバンスト・メディア>

代表者： 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸

本社： 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F

URL： <https://www.advanced-media.co.jp/>

設立： 1997年12月

資本金： 69億3031万円（18,392,724株）（2024年3月末現在）

事業内容： ◆企業および企業内のユーザーや一般消費者へ AI 音声認識アミボイスをサービス利用の形で提供する「サービス事業」  
◆AI 音声認識アミボイスを組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」  
◆AI 音声認識アミボイスを組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」

1997年に設立。Interactive Systems, Inc.（米国）と日本語音声認識 AmiVoice を共同で開発し事業化。2005年には、音声認識専門の企業として初の東京証券取引所マザーズ市場（現：グロース市場）に上場し、音声認識事業で日本で初めて通年ベースで黒字化を達成しています。

「HCI（Human Communication Integration）の実現」をビジョンに掲げ、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく、音声認識ソフトウェア・クラウドサービス市場シェア No.1（出典：ecarlate「音声認識市場動向 2024」）の音声認識 AmiVoice を主軸にした事業を展開。会議、医療、コールセンター、建設・不動産、物流・製造などの領域特化型エンジンとして、幅広いシーンで活用されています。

**【本件のお問い合わせ】**

| <b>報道関係</b>  | <b>お客様</b>  |
|--|---|
| アドバンスト・メディア<br>経営推進本部 広報チーム<br>・ E-mail : <a href="mailto:press@advanced-media.co.jp">press@advanced-media.co.jp</a><br>・ TEL : 03-5958-1307 | アドバンスト・メディア<br>CTI 事業部<br>・ E-mail : <a href="mailto:info@advanced-media.co.jp">info@advanced-media.co.jp</a> |